

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第34回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第34回〕

2. 開催日時 令和8年9月14日（月） 19時00分から19時30分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

関聡、下沢克裕、熊谷宗明、清水祐一、高坂龍男、北林義宏、下澤和彦、加賀田亮、
塩沢貴浩、米山俊孝、寺沢秀文、牛久保守、木下稔、細田勉、片桐瑞穂、小澤文人、
小木曾雅彦、吉澤裕、松浦善文

【JR 東海】

中央新幹線長野工事事務所 小池所長、水上副所長、酒井担当課長、小舘係長、
上野主席

// 大鹿分室 伊藤係長、佐藤主席

【鉄道・運輸機構】

関東甲信工事事務所飯田鉄道建設所 森本副所長、五嶋主任

【長野県】

飯田建設事務所 リニア整備推進事務所 石坂次長、川上課長補佐

【国土交通省】

中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所 鬼頭事業対策官

中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 伊南流域治水出張所 北原所長

【役 場】

北沢町長、黒澤副町長、中村建設水道リニア対策課長、後沢係長、
塚本主任、菊池技術顧問

5. 議題

(1) リニア発生土に関わる工事進捗と運行計画について（JR 東海より〔別冊資料〕）

- ・工事進捗
- ・発生土運搬車両の運行状況と運行計画
- ・その他

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

3人

8. 会議資料の名称

- ・会議次第（町作成）
- ・別冊資料（JR 東海作成）

9. 会議の概要

- （1）開会
- （2）あいさつ
- （3）会議事項
前述のとおり
- （4）その他
- （5）閉会

10. 会議録

（事務局）

本日の進行を務めさせていただきます、建設水道リニア対策課の中村と申します。
次第に沿って進めて参ります。よろしくお願いいたします。
1 番. 開会 松川町区長会長 熊谷副委員長お願いいたします。

（副委員長）

これより、松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会第 34 回を開会します。

（事務局）

2 番. あいさつ 松川町議会議長 米山委員長お願いいたします。

（委員長）

本日は、夜分到大勢の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。日頃より、当委員会の活動並びに地域の安心安全の確保に向け、多大なるご尽力いただいておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

本日の委員会も、限られた時間の中でございますが、活発な質疑応答や意見交換を行っていただき、住民の皆様には現状の姿をご理解いただき、地域の未来を見据えた有意義な会となるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。す。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、松川町 北沢町長お願いいたします。

(町長)

お仕事の後、お疲れのところお集りいただきありがとうございます。第34回となる対策委員会ですが、協議事項のとおり工事の進捗、変更点についてJR東海よりご説明いただくこととなっております。

区長の皆様方におかれましては、区の町政懇談会がそれぞれ行われており、誠にありがとうございます。この対策委員会も同様に、地元の皆さんの意見をしっかりと反映しながら進めてまいります。よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、JR東海 中央新幹線長野工事事務所 小池所長お願いいたします。

(JR東海)

JR東海中央新幹線長野工事事務所で所長をしております小池と申します。

日頃より、リニア中央新幹線の推進につきましてご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。長野県内のリニア工事ですが、トンネルの掘削や高架橋など構造物の工事について着実に進めており、高架橋においては姿を現してきております。また、天竜川の橋梁につきましては、今後桁架設なども行っていくという段階に入ってきております。

松川町におきましては、福与河原では7月からトンネル掘削に伴う発生土を搬入して順調に造成工事を進めてきており、これまで委員会にて説明してきました前河原においても、発生土をご活用いただいているという状況です。

加えまして、大鹿村や飯田市内で発生した土を各地区へ運搬する際には、国道153号や町道護岸線などを使用させていただいており、様々な場面で皆様に事業推進にご協力いただいていることに関しまして、改めて御礼申し上げます。

我々としては、環境に配慮し、地元の皆様としっかりとコミュニケーションをとり、安全に工事を進めてまいりたいと考えております。

さて、本日は松川町に関連する各工事の進捗状況及び発生土運搬車両の運行状況、運行計画などにつきまして説明させていただきます。本日も丁寧な説明を心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、長野県飯田建設事務所 リニア整備推進事務所 石坂次長お願いいたします。

(長野県)

長野県飯田建設事務所リニア整備推進事務所次長の石坂と申します。

委員の皆様におかれましては、平素より長野県の建設行政並びにリニア中央新幹線事業にご理解ご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

本日は、JR 東海から工事進捗並びにトンネル発生土の運搬計画等の説明がありますので、皆様にはご意見等を頂戴し理解を深めていただければと思います。

また、長野県としましては委員の皆様のご意見等を伺いながら、引き続き町と連携をして事業が進むよう取り組んでまいります。

以上、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

ここで、前回の対策委員会から役職の異動等で名簿に変更がありますので、代わられた皆様のご紹介をさせていただきます。次第資料 2 ページの委員名簿をご覧ください。No.17 南信州まつかわ観光まちづくりセンター理事長が小澤様に代わられています。

続いて 3 ページをお願いいたします。JR 東海中央新幹線長野工事事務所が 7 月の異動でご覧の体制となっています。

これより会議事項に入りますが、設置要綱第 5 条の規定により、議長は委員長となります。

3 番. 会議事項 議長の米山委員長お願いいたします。

(委員長)

それでは会議を進めさせていただきます。

(1) リニア発生土に関わる工事進捗と運行計画について、JR 東海よりご説明願います。

(JR 東海)

JR 東海より別冊資料に基づき説明。

(委員長)

ありがとうございます。

ただ今の説明について、ご意見ご質問あれば挙手願います。

(委員)

リニア中央新幹線の開通が当初予定より遅れてきていると思いますが、トンネル掘削のスピードについて、全体計画から掘削スピードを調整しているのか、標準的な掘削スピードで行っているのか。開通時期と工事スピードの考え方についてお聞きしたい。

(JR 東海)

ご質問ありがとうございます。JR 東海の酒井です。

全体の開通時期の話とは別に、それぞれの工区で工事契約をして施工しており、工区毎で精一杯掘削を進めている状況です。開通時期に合わせて調整を行うことは特段ございません。

最後の試験等は開通時期に合わせて一斉にやることがあるかと思いますが、トンネル掘削の進捗をそれにより調整するような考え方はありません。

(委員長)

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。

(国土交通省)

天竜川ダム統合管理事務所で事業対策官をしております鬼頭と申します。

情報提供になりますが、少しお時間をいただきます。

小渋ダムでは土砂が溜まる状況が進行しており、治水機能に支障が及ぶことが心配されております。そのため、堆砂した土砂を有効活用していただきたいと考えており、本日ご説明のありました福与河原にて有効活用していただけると聞いております。また、運搬の実施時期は来年度からと聞いており、調整をさせていただいている状況です。

加えて、それ以外の箇所でも有効活用していただける場所が見つかれば、随時掘削して運搬していきたいと考えており、今後、松川町の中を運行させていただくという状況もあり得るかと思しますので、その際はご理解、ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございます。小渋ダムの堆積土砂に関してご意見ご質問ありますでしょうか。

(委員)

意見・質問なし

(委員長)

会議事項に関してご意見ご質問ありますでしょうか。

(委員)

松川町に関する状況については承知しました。

飯田市駅周辺の進捗状況もわかればお聞かせ願いたいです。

(JR 東海)

駅周辺工事も着々と進捗しており、高架橋の橋脚ができてきて外からも少しずつ姿が見えているような状況です。

道路工事も実施しており、駅から座光寺インターへ行く座光寺上郷道路も工事は進められている状況でございます。

加えて、駅西側の上郷工区というところも、シールド工事でトンネルを掘る予定ですが、そちらのヤード整備も着々と進められており、上郷工区にある展望台の方からその様子がわかる状況となっております。

(委員長)

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。

(委員)

意見・質問なし

(委員長)

会議事項については以上となります。議事は終了しましたので、事務局へ戻します。

(事務局)

米山委員長ありがとうございました。

発生土運搬については、今月の組合回覧と HP にて住民へ周知していく予定であり、必要に応じて自治会単位での説明も随時行ってまいります。町としましては、前河原道路及び福与河原の町内事業について、関係機関と連携を取り進めていきます。

4 番. その他

全体を通じ、ご出席の皆様からご意見等あればお願いいたします。

(町長)

本日の委員会ありがとうございました。

JR 東海には何度もお話をさしていただいております、もうご承知のことと思いますが、松

川町は福与河原、前河原道路が始まるまでは、ただダンプの通る町という中で、多くのダンプが町内を通ってきました。今までの経験値から、委員の皆様含め地域の皆様方はこのことに関して意見を言わず、リニア事業を推進していこうという思いでおります。その中で、10月から12月、1月にかけては220台が道路を通るということになりますが、地域ではそれぞれの声があることを承知いただきたいと思いますし、この対策委員の皆様が地域の方に話をして納めていただいているということもご理解いただきたく思います。

今後も、様々な課題に対して町として協力し、地域の皆様にもご理解いただきながら進めてまいりますので、松川町に対してもそれなりの支援をいただきますよう、重ねてお願い申し上げ、挨拶させていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（事務局）

5 番．閉会 熊谷副委員長お願いします。

（副委員長）

以上を持ちまして、松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会第34回を閉会します。